



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

平成 30 年度東京医療 保健大学大学院公開講座

テーマ：これからの在宅医療・介護
一地域の元気をつくる

日時：7月21日(土)

会場：東京大学弥生講堂(東京都文京区)

プログラム(予定)：教育講演1「生涯を通じて住民に伴走する地域看護を目指して：ピュートゾルフ伯の実践」吉江悟(Neighborhood Care 代表理事)／教育講演2「地域高齢者の体力測定を通じた介護予防と健康支援の取組み」今泉一哉(東京医療保健大学教授)／研究発表1「外来がん化学療法の実状と副作用としての味覚障害の研究」中濱孝志(東京医療保健大学大学院), 大木直子(同)／研究発表2「在宅での看取りのための地域連携：病院から訪問看護ステーションへ出向いて行う事例検討会」大金ひろみ(東京医療保健大学准教授)／研究発表3「在宅における感染制御の実情」西川美由紀(東京医療保健大学大学院博士課程)／研究発表4「産後ケア研究センター開設にあたって」島田祥子(東京医療保健大学講師)／特別講演「AIで介護革命?人工知能とケアマネジャーによるハイブリッド型ケアマネジメントの発明」岡本茂雄(株式会社シーディーアイ CEO)

参加費：1000 円

申し込み方法：下記大学 URL から参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入してメールまたは FAX にて大学院事務室まで送信。

※件名を「大学院公開講座参加申込み」とし、参加申込書を添付

問い合わせ：東京医療保健大学医療保健学研究科大学院事務室

☎ 03-5421-7685

FAX 03-5421-3133

✉ info-master@thcu.ac.jp

URL <http://www.thcu.ac.jp>

日本訪問看護財団研修 小児訪問看護の 実践力向上のための研修 2018(3 日間研修)

日時：9月7日(金)～9日(日)

会場：ラムダホテル新潟(新潟市中央区)

狙い：小児入院患者の在宅移行の促進と、地域での生活を支援するために、小児およびその家族の支援に必要な知識・技術を習得し、保健・医療・福祉・教育等の社会資源が活用できる

内容：障害保健福祉施策の動向と制度活用／小児と家族への退院支援／小児の発達・成長／各ライフステージに応じた小児と家族支援／小児訪問看護の実践／小児在宅医療の現状／小児の呼吸管理／小児のフィジカルアセスメント／小児在宅医療の人工呼吸器について・演習／小児救命処置・演習(シミュレータ使用)／気管カニューレ管理・経鼻栄養管理・吸引等の演習(シミュレータ使用)／修了者報告会

講師：大西延英(元厚生労働省障害福祉課障害児・発達障害者支援室室長補佐), 石渡久子(子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田), 豊田ゆかり(愛媛県立医療技術大学母性・小児看護学教授), 岡田たみえ(東京都立大塚病院 GCU 病棟看護師長), 内田貴之(杏林大学医学部付属病院医療安全推進室専任リスクマネージャー), 松井晃(母子愛育会総合母子保健センター愛育病臨床工学士技士長), 田中道子(あすか山訪問看護ステーション所長), 田中由美(同訪問看護師), 新村恵子(同訪問看護師)

対象：小児訪問看護に従事する看護師(医療技術の演習を含む研修のため、小児訪問看護に従事する保健

師・助産師・看護師・准看護師)

受講料：一律 2 万円

申し込み方法：下記 URL 申し込みフォームから

問い合わせ：訪問看護財団研修担当

☎ 03-5778-7005

✉ info-kensyu@jvnf.or.jp

URL <http://www.jvnf.or.jp/kyouiku/kensyu.html>

北海道医療大学 看護福祉学部学会 第 15 回学術大会

日時：9月8日(土)

会場：北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU(札幌市中央区)

メインテーマ：その人の暮らしを織りなすナラティブエシックス

プログラム：「保健医療福祉におけるナラティブエシックス—『共同著作』の視点から」金城隆展(琉球大学医学部附属病院地域医療部)／シンポジウム「その人の物語から暮らしを織りなすケアを考える」大崎栄子(北海道であいの会代表), 真鍋智美(全国訪問ボランティアナースの会キャンパス札幌代表), 佐藤美由紀(iCare ほっかいどう理事), 下倉賢士(在宅緩和ケア診療所ホームケアクリニック札幌), 金城隆展／研究発表／情報交換会

参加費：(事前)会員 2000 円, 非会員 2500 円, (当日)一律 3000 円(午前の部のみ:無料), 情報交換会 3500 円(要事前申し込み)

申し込み締切：8月24日(金)

※学術大会, 情報交換会とも, 振込確認後, 事前申し込み完了

問い合わせ：北海道医療大学看護福祉学部学会第 15 回学術大会実行委員会

✉ nsgakujyutu@ml.hoku-iryo-u.ac.jp

URL <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai/>

第 28 回日本保健科学学会

日時：10月6日(土)

会場：首都大学東京荒川キャンパス
(東京都荒川区)

テーマ：専門職のキャリアアップ

プログラム：シンポジウム／学会賞
受賞講演／教育講演／一般演題／交
流集会／都民公開講座

参加費：会員 3000 円，非会員
4000 円，学部生・専門学校生(学
生証提示)無料

※筆頭演者は会員 3000 円，非会員
(当日会員扱い)5000 円

演題・交流集会企画募集期間：6月
1日(金)～7月31日(火)

問い合わせ：首都大学東京健康福祉
学部看護学科内実行委員会

〒116-8551 東京都荒川区東尾久
7-2-10

☎ 03-3819-1211

✉ th28nhs@tmu.ac.jp

URL [http://www.health-sciences.jp/
meeting/](http://www.health-sciences.jp/meeting/)

第 7 回日本公衆衛生 看護学会学術集会

日時：2019 年 1 月 26 日(土)～27
日(日)

会場：宇部市渡辺翁記念会館，宇部
市文化会館，国際ホテル宇部(山口
県宇部市)

メインテーマ：健康のアートとサイ
エンスで日々を織りなす公衆衛生看護

参加費：(学会員)事前 9000 円，当
日 1 万円，(非会員)事前 1 万 1000
円，当日 1 万 2000 円，(学生)当日
のみ 3000 円

プログラム：

[1月26日(土)]

会長講演「アートとサイエンスで
日々を織りなす公衆衛生看護」守田
孝恵(山口大学大学院医学系研究科
教授)／基調講演「アートを理解
し，アートに学ぶ—精神医学的作品
論」高橋正雄(筑波大学大学院教授)
／シンポジウム「育ちあう風土と仕

組みと意識—組織的に OJT をすす
めるには」木添茂子(宮崎県都城保
健所次長)，長橋美奈子(静岡県沼津
市立原東小学校教頭)，真柳哲也(株
式会社ウィーン・ネットコーポレー
ション代表取締役)／リレートーク：住民にとって望まれる救急医療
とは「地域のニーズに応えるこれか
らの救急医療」山勢博彰(山口大学
大学院教授)，「離島における在宅医
療・地域包括ケアの課題」石動さゆ
り(北海道礼文町町民課主幹)，「地
域から救急医療を必要とする患者の
特徴と早期発見のための方策」向江
剛(山口大学医学部附属病院フライト
ナース)，「救急で生じる意思決定
の困難さと地域住民の健康と望まし
い死」立野淳子(小倉記念病院急性
・重症患者看護専門看護師)／ド
クターヘリ見学ツアー／教育講演Ⅰ
「日常業務に活かそう！臨床検査の
最新知識—糖尿病検査の動向と血糖
コントロールの指標」佐藤麻子(東
京女子医科大学教授)／会員集会／
懇親会

[1月27日(日)]

特別講演「公衆衛生看護の倫理とサ
イエンス」麻原きよみ(聖路加国際
大学教授)／アーティストミックセ
ミナー「科学的根拠にもとづくメイ
クセラピー—アート・サイエンスの
力で健康なところとからだに」豊永
純子(株式会社 Sunotice 看護師)／
特別シンポジウム(一般公開)「宇部
方式を今につなぐ—産・官・学・民
で取り組む健康なまちづくり—産の
立場から」千葉泰久(日本化学会
フェロー)，「官の立場から」久保田
后(宇部市長)，「学の立場から」岡
正朗(山口大学学長)，「民の立場か
ら」浮田正夫(うべ環境コミュニ
ティ理事長)／教育講演Ⅱ「子ども
虐待の世代間連鎖を断ち切るための
予防的支援における保健師の役割」
上野昌江(大阪府立大学大学院教授)
／フェアウェル講演(一般公開)「演
奏家が人生をかけて向き合う芸術の
探求」仲道郁代(桐朋学園大学教授)
演題・ワークショップ申し込み期

間：6月1日(金)～8月31日(金)

事前参加申し込み期間：2018 年 6
月 1 日～9 月 30 日(入金は 10 月 31
日まで)

問い合わせ：第 7 回日本公衆衛生
看護学会学術集会運営事務局

〒456-0005 名古屋市熱田区池内
町 3-21 (株)ユピア内

FAX 052-882-9612

✉ japhn7@yupia.net

URL <http://japhn7.yupia.net/>

本欄へ掲載を希望する学会・研究
会・講習会などのお知らせがあり
ましたら，本誌編集室までお送り
ください。

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

FAX 03-5804-0485

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp